

防コミの歩き方

BOSAI
KOBEMIRAI

垂水消防署の防災教育 垂水ジュニア・ファイア・ファイター (T.J.F.F)

●T.J.F.Fとは？

垂水消防署では平成18年度から、区内に在学又は在住の中学生を対象に、正しい防火・防災知識を身に付けさせるとともに、各種消防体験を通じて規律正しい、活発な少年少女の育成を目的とし毎年訓練を実施しています。

今年も8月16日から19日までの4日間、熱き心を持った15人の中学生(男子12人、女子3人)が訓練に参加しました。

●訓練初日

初日は入校式が終わると、いきなり基本訓練が始まり「気をつけ」「休め」「敬礼」等の動作を厳しい!?職員たちから教わり、午後からは放水体験や体力練成、はしご車搭乗体験などを実施しました。

●2日目

この日は終日救助訓練で、呼吸器装着訓練や、ロープを使って登ったり、降りたり、渡ったりと、かなりハードなメニューであったにもかかわらず「上からロープで降りるのはスパイダーマンみたいで楽しかったです」や「自分もスーパーイーグル神戸の隊員になりたいので、将来は絶対消防士になります」といった感想が多かったのには驚かされました。

●3日目

この日の午前中は消防団員から市民救命士講習を受け、午後には先生や家族が参観する中、「5階建てビルの2階で火災が発生、要救助者あり、消火及び救助活動を実施せよ!」との指令で総合訓練を実施しました。指揮者をはじめ、消防隊や救助隊に班分けされた中学生がすべての役割を担当しました。

消防隊員は筒先を構え「放水始め!」の声で勢いよく2階部分へ放水し、また、呼吸器を背負った救助隊員が煙の充満した室内から人形を運び出したときには大きな拍手が湧きました。

●最終日

ラストは垂水消防署を離れ、水上消防署での消防艇見学や、人と防災未来センターの見学をおこない、午後には、脱落者やけが人が出ることもなく、全員無事に修了証を受領することができました。

●PS。

T.J.F.Fの卒業生2人が、神戸市消防職員採用試験にみごと合格し、消防学校での半年間にわたる研修を終え、10月から消防士として活躍しています。

(垂水消防署 吉田泰介)

